

文化講演会が開催されました 冷たい雨の日、心を温める落語に 聞き入りました

2023年度文化講演会が2月25日(日)、プラッツ習志野市民ホールで開かれました。今回は「落語」です。この日はあいにくの冷たい雨でしたが、期待に満ちた来場者が足を運びました。会場には着姿の女性もチラホラと伺え、華やかな雰囲気醸していました。講師は前回、ちょうど2年前の文化講演会と同じ、三遊亭楽生(らくしょう)さんと三遊亭好青年(こうせいねん)さんです。

日向洋美文化交流部会長の司会と当協会吉村和就会長の挨拶で始まりました。まず好青年さんが日本語、

英語、それに母国のスウェーデン語を交えたいくつもの小話を披露。文化の違いなども面白く語っていただきました。続いて楽生さんが噺家の裏話などをマクラに振って「初天神」を一席。時折、習志野を持ち上げて観客をくすぐり、笑いを呼びます。次は好青年さんの「夢の酒」。若旦那と

大旦那がお酒を介して夢と現実が入り混じる話を熱演されました。

トリは楽生さんの「井戸の茶碗」でした。こちらは正直者のくず屋が思わぬ掘り出し物をめぐって、貧乏裏長屋に住む浪人者と大名屋敷の若侍の間で右往左往と困り果てる、という話。滑稽噺でもある人情噺を、楽生さんにじっくりたっぷり聞かせていただきました。

大きな拍手をもって終了後、来場のみなさんは出口で挨拶をされるお二人に送られて、満ち足りた笑顔で帰路についていました。

(報告：広報部会 秋山 勝)



NIA会長の吉村さん(右)と文化交流部会長の日向さん(左)



三遊亭楽生さん



三遊亭好青年さん

NI-Youthがトーゴ大使館を訪問しました 知れば遠くないアフリカの国

田村花穂 (NI-Youth)

2023年12月、私たち4人の大学生は、今回の訪問を企画してくださったNIA会員の内藤さんと、目黒区にあるトーゴ共和国大使館を訪問しました。外交官のジュルスさんはとても朗らかな方で、私たちをフレンドリーに出迎えてくださいました。トーゴ共和国についてはもちろん、その周囲のアフリカの国についても説明をしていただきました。

その後、大使館内に飾られている写真を見せていただきました。写真にはトーゴの人々の生活や、トーゴで暮らした日本人が写っていて、説明だけではわからないトーゴの雰囲気を感じ取ることが出来ました。

ジュルスさんは説明の終わりに、日本の多くの人々はアフリカをはるか遠くに感じているけれど、そうではないことを知ってほしいとおっしゃっていました。私自身、アフリカにはあまり詳しくなく、よくわからない場所のように感じていましたが、ジュルスさんの説

明やトーゴの写真を見ることで、日本とトーゴとのかわりを知り、トーゴはどこか遠いところではないと感じました。

詳しくない場所について、つい未知のように感じてしまい、自ら学ぶ機会すら遠ざけてしまいがちです。世界中のあちこちに行けるようになった今、遠く感じられるような場所でも実際はそうではありません。今回の訪問は、知ることが大事なのだと学ぶことが出来た、貴重な体験になりました。



NI-Youthメンバーとジュルスさん(中央)

市内3小学校で「Get The Point」のゲームを行いました

SDGs学習ゲーム「Get The Point」が、1月19日向山小学校、2月9日袖ヶ浦東小学校、2月19日大久保東小学校で行われました。国際交流部会が進行を努め、子どもたちは楽しんでSDGsを学んだ授業となりました。学校から届いた感想を紹介します。

《担任の先生から》

◆向山小学校 5年担任

社会科や校外学習で「SDGs」という言葉を知った本校の5年生。「SDGs」について何となく…の理解しかなかった子どもたちですが、どんなことなのか、もっと知りたいという思いをもっていました。

「Get The Point」のゲームのおかげで、“持続可能とは何か”“協力してみんなが幸せになるとはどんなことなのか”など、体験を通して楽しく学習することができました。授業の後日、本やインターネットで真剣に調べる子、自分たちにできることを発表する子など、よい姿がたくさん見られました。

◆袖ヶ浦東小学校 5年担任

SDGsを意識させた「Get The Point」ゲームを経験して、子どもたちの変化を感じました。特に大きく感じたことは、日本という枠組みを越え、世界の現状を知った上で、自分たち自身の生活をより良くしていこうと考えはじめています。例えば、社会科「自然産業について」の学習では、「日本の環境だけでなく、世界ではどのように取り組んでいるのだろうか？」や「自分たちは、環境において自分たちでできることは何か？」など、疑問をもち調べたことから、自分なりに考えていました。子どもたちの考える視点の広がりを感じました。単元の終末にどのような感想が出てくるか今から楽しみです。

◆大久保東小学校 4年担任

ゲームを通して、児童が資源を大切にし、守っていくことの大切さ、そして協力する素晴らしさを学ぶことができたと思います。総合的な学習の時間にSDGsについて学んできましたが、この授業を終えて改めて自分にできることを考えることができました。

《児童アンケートから抜粋》

◆ゲームをプレイしてみて感じたこと・気づいたこと

- ・「地球にやさしくしよう！」とか「SDGs達成に向けてがんばろう！」とか言われてもよくわからないところがあったけど、ゲームをやったらわかりやすく、そして自分がどんなことをすればよいか、わかった。
- ・資財をつかひすぎると次の世代につなげないことがわかった。
- ・ゲームではリセットができるけどげんじつではできない。



SDGsの授業。講師はNIAの関根さん

◆明日からの生活の中で、自分ができそうなSDGs達成に向けた行動

- ・電気をつけっぱなしにしない。水を出しっぱなしにしない。
- ・給食を残さず食べる。
- ・ポイ捨てをしない。
- ・海のゴミを減らすために行動したいと思います
- ・ゴミをしっかりと分べつてかぎりあるしげんをゆうこうにつかえるようにする。

◆SDGsって何？自分の言葉で書いてみよう

- ・みんなが幸せになること。
- ・地球の環境を守る。
- ・世界がよりよくなるためにひつような目標。
- ・人や国が不公平にならないようにする。
- ・地球がなくならないためにみんなで協力すること。
- ・全世界の人が2030年までにやるべきこと。

◆ボリビアのお話をきいて感じたこと、気づいたこと（お話はスクウェア135号で紹介）

- ・今私たちができることを世界中のみんなでやらなければいけないと強く感じました。
- ・あたりまえのことでもボリビアの子からしたらあたりまえじゃないからかんしゃしてすごそうと思う。
- ・ぼくたちが幸せにくらしている同じ世界でこんなことが起きていると気づいた。
- ・自分は学校に行きたくないと思うことも多いですが、そう思えるのがしあわせだということがわかりました。
- ・自分がなにげなくすごしている時間でも、別の国では子どもでもひっしに働いたりくるしい思いをしている人がたくさんいるんだとむねがいたくなりました。
- ・1人だったらむりなことも世界のみんなであればできることがわかりました。
- ・自分たちがいま学校にいて、友だちと遊べて、ごはんを食べることがどれだけ幸せかがよくわかった。

◆その他

- ・わたしは今日のじゅぎょうを受けて、みんながびょうどうに生きていけるように自分のできることをやろうと思いました。
- ・今SDGsについてべんきょうしているので、とてもべんきょうになりました。他にもわからないことは調べてみます。

日本語教室の行事、あすなる会 (華道・書道・茶道)を再開しました

勝又陽子(日本語教室部会)

日本語教室部会の「あすなる会」は外国人学習者の皆さんと、華道・書道・茶道の体験学習を行っています。コロナ禍により休止の後、3行事の開催回数を年間各1回に減らし、2023年10月から4年ぶりに活動を下記の通り再開しました。

【華道教室】

2023年10月4日
(水)NIA会議室
参加者12名



講師の妹尾幸子さんは元日本語ボランティアで、生け花の成り立ちや注意点をやさしい日本語でわかりやすく説明。

テーマは「秋の花」で、参加者それぞれに個性を發揮して作品を仕上げていきました。生け終わった後には他の人の作品も見て回り、写真を撮り、楽しい体験になりました。

【書道教室】

2023年11月8日(水)NIA 会議室 参加者11名

講師は元日本語ボランティアの鈴木万由美さん。まずは毛筆の扱い方から始まり、基本の縦、横、はらい

の練習。これが結構難しく、鈴木講師はじめ、参加者に付き添ってきた日本語ボランティア、あすなる担当幹事も一緒になってサポートしました。最後に各自が記念に持ち帰るための色紙に書くお手本の字を先生に書いていただき、それを手本にみなさん作品を仕上げました。



【茶道教室】

2023年12月11日(月)サンロード5階茶室 参加者11名

お点前は日本語ボランティアの進藤郁夫さん。幹事の田中芳恵さんから茶道、茶室についての簡単な説明がありました。抹茶は初めての学習者にはかなり苦かったらしく、次に「自分で点でて飲み比べてみましょう」という時に、抹茶の量を極端に減らしている学習者もいました。



茶筌で泡立てるのを楽しそうにしている方あり、どうしても座れない方もあり、それぞれに得難い体験だったことでしょう。

日本語ボランティア研修会が開かれました

中村松男(日本語教室部会)

2023年度第2回日本語ボランティア研修会が12月18日(月)に開かれました。

今回の講師は文化庁の日本語教育に関する講師やアドバイザーをされ、また今年度のボランティア養成講座の講師をされた吉田聖子先生でした。テーマは「入門レベルの対象者に合わせた具体的な支援の方法」(児童生徒向け・成人向けそれぞれに対して)です。参加者は32名。6つのグループにわかれて、課題が出される都度、経験談や意見を交換しながら先生の説明に耳を傾けました。

ウォーミングアップでは、習志野市在住2か月の外国人が経験する3つの日常的な場面を想定し、それぞれどんな日本語の力が必要になるかを議論しました。ここでは、日本語の「聞く、話す、読む、書く」能力だけでなく、ジェスチャーやいろいろな文字や記号・イラスト・スマホの活用など、様々なものが使われていることを確認しました。

次に、文化庁や国際交流基金などが提供している日本語学習支援の様々なウェブサイトやアプリなど最新

の教材(ツール)が紹介されました。これらの支援ツールは14言語で利用可能で、例えば、学習者が動画を見るなど自分のペースで自習し、我々ボランティアはその進み具合を確認したり、補完するといった活用例も有効だとヒントをいただきました。

また、大人と子どもの違いに関しては、それぞれ児童生徒、親、社会人、保護者と立場や世界が多様で、相手や場面に応じて使う日本語も異なることを念頭に置き、学習者や学習者のニーズの個別事情を確認・理解しながら進めるようアドバイスをいただきました。



グループにわかれて課題に取り組む参加者の皆さん

世界の料理教室「フィリピンの家庭料理」が開かれました 家族や友人が集まるイベントのときに 食べます

小林亜紀 (NIA会員)

2月1日(木)菊田公民館での「世界の料理教室-フィリピンの家庭料理」に参加しました。

講師のリカ・エウセビオさんが教えてくださったのは『ポークメヌード』という野菜と豚肉をレバーペーストや醤油などの調味料とトマトソースで煮たもの、ナンプラー、レモン、ニンニクしょうがなどでフィリピン風の下味をつけた『チキン唐揚げ』、デザート『バナナの包み揚げ』の3品です。この他にリカさんとお手伝いをしてくださった方たちが『ほうれん草とトマトのサラダ』



この日参加の皆さん

『マカロニチキンスープ』を振る舞ってくださり、豪華なランチタイムとなりました。

フィリピン料理は作るのも食べるのも初めてでしたが、野菜を多く使っているのでもっともヘルシーで栄養のバランスも良く、とにかく美味しく、想像以上のクオリティーの高さでした。デザート『バナナの包み揚げ』も絶品でした。今回教えていただいた料理は、フィリピンでは家族や友人が大勢集まるイベントの時に食べることが多いそうです。今回初めての参加となりましたが、料理の他にもフィリピンの文化やリカさんの底抜けに明るいお人柄なども知ることができ、有意義な国際交流の時間となりました。



講師のリカ・エウセビオさん

豪華ランチの出来上がり

近隣8市国際交流協会等連絡協議会 に参加しました

事務局長 井澤修美

国際交流協会等連絡協議会は、2010年に交流協会同士の横のつながりを強め、共通の課題を話し合い、情報の共有を図るために千葉県内で発足した会です。現在はより身近なつながりを深めるため、近隣の8市(市川市・浦安市・鎌ヶ谷市・千葉市・船橋市・八千代市・四街道市・習志野市)国際交流協会等で定期的に情報交換を行っています。

今回は2019年に習志野が幹事となって実施して以来コロナで中止となっていたため、久しぶりの開催となりました。2月24日(土)、浦安市国際交流協会が主催となり、テーマは①会員募集・役員選出対策②多文化共生に関する事業実績・計画の2点。それぞれパワーポイントで

情報提供し、質疑も行われました。

このようにテーマに基づき協議することにより共通の課題への対応を参考にしたり、また顔を合わせて協議することにより、協議会以外での情報交換も円滑になります。今後もこの連携を十分に活用していきたいと思えます。



出席者の皆さん

詳しい記事はホームページをご覧ください

【発行】

習志野市国際交流協会
千葉県習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼6F
〒275-0016
Tel&Fax 047-452-2650
<http://www.nia08.com/>
nia@jcom.zaq.ne.jp

【広報から】

- ◆メールマガジンに読者登録をスクウェアの電子版「メール・スクウェア」を配信しています。無料です。配信停止も自由です。配信をご希望の方はPCメールアドレス niasquare@jcom.zaq.ne.jp まで。
- ◆原稿をお寄せください
イベントや活動の報告、雑感、国際交流の体験など。投稿は事務局または niasquare@jcom.zaq.ne.jp へ。
- ◆スクウェア編集部員を募集しています
一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。